



そば畑



おといねっぶ
美術工芸高等学校

北海道おといねっぶ音威子府村



遠藤貴幸村長

人口約600人の北海道で最も小さな村。面積の約86%を森林が占め、天塩川が流れる自然豊かな環境が魅力です。村立のおといねっぶ美術工芸高等学校には全国からものづくりを志す生徒が集まり、「森と匠の村」としても知られています。黒いそばで知られる音威子府そばや、ホワイトアスパラ、ジェラートなどの特産品も人気です。

自治体連携で進める共生のまちづくり

きよせフレンドリータウン

全国の自治体や団体、民間事業者との学びの場から生まれたご縁。そのつながりをきっかけに、清瀬市の魅力を外へ届けるさまざまな取り組みが動き出しています。市がハブとなり、つながりを未来へ広げていきます。

きよせフレンドリータウンとは？

実際に交流のあった自治体とのご縁を育てる取り組みで、協定などの取り交わしのない気軽な関係。イベント交流や観光PRなどを相互に行い、交流人口・関係人口・応援人口の拡大を目指します。「きよせ市民まつり2025」では、各自治体の特産品などの販売を通じ交流を深めています。



さかき千曲川
バラ公園



ねずみ大根

長野県坂城町



山村弘町長

特産のねずみ大根を使った「おしぼりうどん」や、約2,300株のバラが咲くさかき千曲川バラ公園など、食と花の魅力あふれるまちです。機械・金属加工業を中心に約200社が集積する「ものづくりのまち」として発展してきました。降雨量が少なく晴天に恵まれた気候を活かし、リンゴやブドウの生産も盛んに行われています。



クマヤキ



北海道津別町



佐藤多一町長

北海道東部・オホーツク圏内陸に位置する、人口約3,800人のまち。町の約86%を森林が占め、「愛林のまち」を掲げ、林業と農業を基幹産業に発展してきました。神秘的なチミケツブ湖や津別峠の雲海など雄大な自然が魅力です。木工製品や乳製品、農産物などの特産品も豊富で、「きよせ市民まつり」に出店したクマヤキも人気を集めました。



津別峠の雲海



西武グループ×清瀬市

広がる

きよせフレンドリー カンパニー

西武鉄道株式会社との連携協定を皮切りに西武グループとの連携が広がっています。プリンスアイスワールド2025-2026東京公演に出演された「清瀬駅の推し」河野有香さんが市長を表敬訪問し、市内児童福祉施設の子どもたちを公演へ招待してくださいました。公演を主催する西武グループとの協力のもと、地域とのつながりを育む取り組みが進んでいます。今後も「きよせフレンドリーカンパニー」の輪を広げていきます。



河野さん(右)と湊谷市長(左)

長野県立科町



両角正芳町長

友好交流都市協定 災害時相互応援に関する協定

長野県東部に位置し、北部の田園地帯と南部の高原リゾートからなる自然豊かな地域です。標高2,531mの蓼科山を望む女神湖や、白樺湖など四季折々の景観が広がります。リンゴやブドウ、信州蓼科牛などの農畜産物も自慢。中山道の笠取峠には江戸時代の面影を残すマツ並木が続き、歴史と自然が調和しています。



女神のテラス1830

福島県北塩原村



遠藤和夫村長

北塩原村は、磐梯山北麓の観光地『日本の湖水地方 裏磐梯』を有し、明治の磐梯山噴火で生まれた300以上の湖沼と豊かな山並みが織りなす雄大な景観が魅力です。春は約3,000本のオオヤマザクラが咲き誇り、夏は新緑や湖でのアクティビティ、秋は鮮やかな紅葉、冬は幻想的な雪景色と四季折々の自然美や会津米や会津山塩など地元の恵みあふれる特産品も楽しめます。



桜峠